

投与量チェックDB

■ 概要

- ・医療用医薬品の効能・効果、用法・用量に基づき適正な投与量範囲のチェックが可能なデータベースです。

■ 特徴・機能

- ・年齢や体重、体表面積、効能効果、投与経路などに応じたデータを作成しているため、条件に応じた適正なチェックを行うことが可能です。
- ・投与経路、効能・効果が不明でもチェックを行うことが可能です。
- ・添付文書に小児の用法・用量の記載がない医薬品も、成人量を参照した小児用量の算出を可能としています。

■ 目的・利用場面

- ・電子カルテでの処方入力時の処方量チェック、電子薬歴、レセコンでの処方監査、調剤機器での処方監査などにご利用いただけます。
- ・患者さんの年齢や症状（適応病名）に応じた投与量のチェックが可能なため、患者さんへの服薬指導にご利用いただけます。

■ データ例

『フロモックス錠100mg』の添付文書（概略）

通常、成人にはセフカペンピボキシル塩酸塩水和物として1回100mg（力価）を1日3回食後経口投与する。なお、年齢及び症状に応じて適宜増減するが、難治性又は効果不十分と思われる症例には1回150mg（力価）を1日3回食後経口投与する。

年齢区分	投与量区分	最小用量（成分量）	最大用量（成分量）	最小用量（製剤量）	最小用量（製剤量）	1日の投与回数
成人	1回当り	100mg	150mg	1錠	1.5錠	3回
	1日当り	300mg	450mg	3錠	4.5錠	3回

年齢や適応症に応じて、「1回量」と「1日量」のチェックを行うことが可能です。

■システム、Web等での表示例

30歳の患者さんへの歯科での処方例

薬品名	処方量
フロモックス錠100mg	1回2錠(1日6錠) 1日3回 毎食後

フロモックス錠100mgのデータ登録例

効能・効果	歯周組織炎
年齢	成人
1回量(最小～最大)	100～150mg
1日量(最小～最大)	300～450mg



投与量が最大値を超えています

小児の用法・用量の記載がない医薬品も小児用量の算出が可能